

# 青山義孝教授 略歴

## 学 歴

昭和48年3月 上智大学文学部英文学科 卒業  
 昭和50年3月 上智大学大学院文学研究科英米文学専攻修士課程 修了  
 昭和53年3月 上智大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期課程 満期退学

## 甲南学園における主な経歴

昭和57年4月 甲南大学 講師 (昭和60年3月まで)  
 昭和60年4月 甲南大学 助教授 (平成5年3月まで)  
 平成5年4月 甲南大学 教授 (現在に至る)

## 甲南学園における主な役職等

平成9年4月 甲南大学文学部英語英米文学科主任 (平成10年3月まで)  
 平成10年4月 甲南大学学生部長 (平成12年3月まで)  
 平成12年8月 甲南大学学生部長 (平成14年3月まで)  
 平成13年4月 甲南大学大学院人文科学研究科英語英米文学専攻主任 (平成14年3月まで)  
 平成14年4月 甲南大学文学部英語英米文学科主任 (平成15年3月まで)  
 平成15年4月 甲南大学大学院人文科学研究科長 (平成16年3月まで)  
 平成16年4月 甲南大学副学長 (平成20年3月まで)  
 理事 (常任・5号) (平成20年3月まで)  
 評議員 (3号) (平成20年3月まで)  
 平成18年4月 甲南学園スポーツ強化支援室長 (平成21年3月まで)  
 平成26年4月 甲南大学学長補佐 (平成26年7月まで)  
 平成26年4月 甲南大学広域副専攻センター所長 (平成27年3月まで)  
 平成27年4月 甲南大学共通教育センター所長 (平成28年3月まで)  
 平成26年4月 甲南学園スポーツ強化支援室長 (現在に至る)

## 甲南学園における主な委員・会議員など

伊藤忠兵衛基金出版助成委員会委員  
 オフ・キャンパス・アクティビティ検討委員会委員  
 会計大学院中間評価委員会委員  
 カウンセリングセンター運営協議会委員  
 学園環境企画委員会  
 学生部委員  
 学生部セクシュアル・ハラスメント委員会委員  
 学長辞任請求管理委員会委員

教育職員養成課程カリキュラム委員会委員  
教職課程委員会委員  
教職教育センター運営委員会委員  
教職教育センター協議会委員  
教養課程運営委員会委員  
研究倫理委員会委員  
現代講座委員会委員  
広域副専攻センター協議会委員  
広域副専攻センター運営委員会委員  
広域副専攻センター代表専門委員会委員  
講堂兼体育館運営委員会委員  
合同教授会議員  
甲南21クリエイティブ・プラン審査委員会委員  
甲南学園広報委員会委員  
甲南学園平生太郎基金運営委員会委員  
甲南大学キャンパス・ハラスメント防止委員会委員  
甲南大学FD委員会委員  
広報検討専門委員会委員  
甲友会館建設委員会委員  
国際交流センター協議会  
国際交流助成運営委員会委員  
5号館建設委員会委員  
サイバーライブラリー協議会委員  
全学共通科目連絡会委員  
自己点検・評価運営委員会委員  
自動車問題委員会委員  
情報教育研究センター協議会委員  
人権問題委員会委員  
新校舎建設委員会委員  
人文科学研究科委員会委員  
スポーツ強化支援企画運営委員会委員  
セミナーハウス管理運営委員会委員  
先端生命工学研究所協議会委員  
大学院人文科学研究科委員会委員  
大学院委員会委員  
大学会議員  
日本育英会甲南大学委員部委員  
日本学生支援機構奨学金返還免除候補者学内選考委員会委員  
人間科学研究所協議会委員  
排水管理委員会委員  
ハitek・リサーチ・センター協議会委員  
ビジネス・イノベーション研究所協議会委員  
広野施設運営管理委員会委員  
フロンティア研究推進機構協議会委員

募金企画委員会委員

補導協議委員会委員

六甲アイランド体育施設運営委員会委員

## 青山義孝教授 業績一覽

### 著 書

- 1991年 『ホーソン研究——時間と空間と終末論的想像力——』（英宝社）  
 2004年 『『緋文字』を読む』（<http://pot-8-o.hp.infoseek.co.jp/pot-8-o.htm>）  
 2010年 『『緋文字』入門』（eブックランド）  
 2013年 *Nathaniel Hawthorne: Thought-forms, Space, and Time*（狐坂出版）  
 2014年 『ピンクのリボン——ホーソン論』（狐坂出版）  
 2015年 『改訂版『緋文字』入門』（デザインエッグ社）  
 2017年 『盲壁の夢想——エマソン／ホーソン／メルヴィル——』（デザインエッグ社）  
 2017年 『英米文学文化の異民族・異邦人・異人種』（Kindle, 中井誠一氏との共編著）

### 論 文

- 1976年 “‘Rappaccini’s Daughter’: The Garden as a Neutral Territory” 『上智英語文学研究』 1号  
 1977年 「ホーソンの世界——時間と空間——」 『アメリカ文学』 33号（日本アメリカ文学会東京支部）  
 1980年 “History in *The House of the Seven Gables*” 『上智英語文学研究』 5号  
 1981年 “A Pocket of Time: Time and Utopia in *The Blithedale Romance*” 『アメリカ文学研究』 17号（日本アメリカ文学会）  
 1981年 「エマソン——自然と歴史」 *Soundings* 7号  
 1982年 「ホーソンとタイポロジー」 *Soundings* 8号  
 1983年 「*The Scarlet Letter* における救いの問題」 『英文学研究』 60巻2号（日本英文学会）  
 1984年 「John Updikeと飛翔のイメージ」 『甲南大学紀要文学編』 49号  
 1985年 「『七破風の屋敷』に見るホーソンの歴史観」 『デモクラシーと19世紀のアメリカ作家たち』（『同志社アメリカ研究』別冊9号）  
 1985年 “Salvation Theme in *The Scarlet Letter*” 『甲南大学紀要文学編』 53号  
 1986年 「美の追求——痣と蝶——」 『甲南大学紀要文学編』 57号  
 1987年 「Henry David Thoreau と Nathaniel Hawthorne の自然観」 『甲南大学紀要文学編』 61号  
 1989年 「*The Marble Faun*——『幸運な墮落』の物語」 『甲南大学紀要文学編』 69号  
 1990年 「Ralph Waldo Emerson の教育観」 『甲南大学紀要文学編』 73号  
 1991年 「ヘスターはエマソンだった？——『緋文字』におけるホーソンのエマソン批判——」 『甲南大学紀要文学編』 77号  
 1991年 「アメリカ文学と偶然」 『清水汜教授退官記念論文集』（あほろん社）所収  
 1992年 「エレミアの嘆き——“The Minister’s Black Veil”」 『甲南大学紀要文学編』 81号  
 1992年 「ロマン主義的自我の昇華と川」 『川のアメリカ文学』（南雲堂）所収  
 1992年 「パールと緋文字」 『子供のイメージ——十九世紀英米文学に見る子どもたち』（英宝社）所収  
 1992年 「ホーソンの許されざる罪」 『英語・英米文学の新潮流——谷本泰三教授退職記念論文集』（金星堂）所収  
 1993年 「運命の顔をもつ偶然——『大理石の牧神像』——」 *OAK* 創刊号  
 1993年 「アメリカ・ルネサンスにおける必然と偶然」 『アメリカ文化の原点と伝統』（彩流社）所収

- 1994年 「罪と時間と死——『七破風の屋敷』論——」『甲南大学紀要文学編』88号
- 1995年 「ナサニエル・ホーソーと死——Antigothic/Apotheosis of Gothic」『甲南大学紀要文学編』92号
- 1995年 「『緋文字』を読む——その1——」OAK 第2号
- 1996年 「Et in Arcadia ego——『大理石の牧神像』論（その1）」『甲南大学紀要文学編』96号
- 1996年 「天上の正気と地上の狂気——メルヴィル序説」*Sky-Hawk* 第11号
- 1997年 「十字架と髑髏と羽のついた種子」『甲南大学紀要文学編』100号
- 1998年 「ピンクのリボン——信仰喪失物語としての「若いグッドマン・ブラウン」」『甲南大学紀要文学編』104号
- 1998年 「『緋文字』を読む——その2」OAK 第3号
- 1999年 「盲壁の夢想——その1」『甲南大学紀要文学編』108号
- 1999年 「ホーソーとキリスト教——『緋文字』における苦行と悔い改め」『アメリカの嘆き——米文学史の中のピューリタニズム』（松柏社）所収
- 2000年 「ナルシスの入水——盲壁の夢想（2）——」『甲南大学紀要文学編』112号
- 2001年 「『白鯨』における霊と魂と肉体」『アメリカ文学ミレニアムⅠ』（南雲堂）所収
- 2001年 「『緋文字』を読む——その3——」OAK 第4号
- 2001年 「天国の噂——『緋文字』/ラブ・ストーリー——」『緋文字の断層』（開文社）所収
- 2002年 「『緋文字』を読む——その4」『甲南大学紀要文学編』120号
- 2003年 「無限への憧れ——アメリカ・ロマン主義の一考察——」『甲南大学紀要文学編』125号
- 2004年 「蛇の表象性——白い文明と新大陸」『甲南英文学』第19号
- 2010年 “Time and Sin in Hawthorne’s Short Stories” OAK 第6号
- 2010年 “A Seven-Branched Allegory of the Felix Culpa: *The Marble Faun*” OAK 第6号
- 2010年 “Space and Time: A Study of Nathaniel Hawthorne” 『甲南大学紀要文学編』160号
- 2011年 “Hawthorne and History” 『甲南大学紀要文学編』161号
- 2012年 「『緋文字』——規則違反紋章の謎」『甲南大学紀要文学編』162号
- 2013年 “Hawthorne’s Romance” 『甲南大学紀要文学編』163号
- 2013年 「嘆きのインディアン（その1）」OAK 第9号
- 2014年 「汝が車星につなげ——エマソンと天文学——」『甲南大学紀要文学編』164号
- 2014年 （研究ノート）「霊魂／霊／魂≠Soul/Spirit」『甲南英文学』29号
- 2015年 「『百年後なら』——嘆きのインディアン その2——」『甲南大学紀要文学編』165号

## 研究発表および講演

- 1978年 「*The Blithedale Romance* 論——歴史とユートピア——」第17回日本アメリカ文学学会全国大会，奈良女子大学
- 1980年 「*The House of the Seven Gables* における歴史」日本アメリカ文学会東京支部例会，慶応義塾大学
- 1980年 「ホーソーの歴史観」サウンディングズ英語英米文学会，上智大学
- 1982年 「ホーソーとタイポロジー」日本ナサニエル・ホーソー協会第1回全国大会，西南学院大学
- 1982年 「『緋文字』における救いの問題」日本キリスト教文学会，梅光女学院大学
- 1982年 「Nathaniel Hawthorne における死」上智大学英文学会第7回総会，上智大学
- 1983年 「*The Scarlet Letter* と Democratic Mind」日本アメリカ文学会関西支部例会，英知大学
- 1983年 （フォーラム）「アメリカ文学とデモクラシー——プロパティの概念をめぐる——」第27回日本アメリカ文学会関西支部大会，神戸女学院大学
- 1984年 （シンポジウム）「*The Marble Faun*」日本ナサニエル・ホーソー協会第3回全国大会，甲南学園平生記念館

- 1984年 「Horace Bushnell における罪をめぐって」 同志社大学アメリカ研究所第Ⅱ部門研究会, 同志社大学
- 1986年 「ソーロウとホーソーンにおける自然」 ヘンリー・ソーロウ協会1986年春季全国大会, 立正大学
- 1986年 (シンポジウム) 「アメリカにおける ‘Wilderness’ の諸相」 第25回日本アメリカ文学会全国大会, 北星学園大学
- 1989年 「アメリカ文学と偶然」 故毛利至教授追悼学術講演会, 甲南大学
- 1989年 (シンポジウム) 「*The Scarlet Letter* を読む」 第14回上智大学英文学会総会, 上智大学
- 1989年 (フォーラム) 「アメリカ文学を流れる川——川のタイポロジー」 第33回日本アメリカ文学会関西支部大会, 京大会館
- 1991年 「推理小説の誕生——ポオの偶然推理学」 甲南大学公開講演会, 甲南大学
- 1993年 (シンポジウム) 「*The House of the Seven Gables* 再評価」 第12回日本ナサニエル・ホーソーン協会全国大会, 日本大学
- 1993年 (シンポジウム) 「アメリカ文学における運命の諸相」 第32回日本アメリカ文学会全国大会, 弘前大学
- 1996年 「『大理石の牧神像』——十字架と髑髏」 日本ナサニエル・ホーソーン協会関西研究会, 関西大学
- 1997年 「ピンクのリボン——信仰喪失物語としての「若いグッドマン・ブラウン」」 第36回日本アメリカ文学会全国大会, 慶應義塾大学
- 2000年 「ナルシスは何を見たのか? ——『白鯨』と靈魂不滅説」 第16回甲南英文学会総会, 甲南大学
- 2003年 (シンポジウム) 「表象としての人種」 甲南英文学会20周年記念大会, 甲南大学
- 2013年 「エマソンと天文学」 第29回甲南英文学会総会, 甲南大学
- 2015年 (ワークショップ) 「文化・文学を教える」 第31回甲南英文学会総会, 甲南大学
- 2015年 「『緋文字』の翻訳を通して見えてきたこと」 日本ナサニエル・ホーソーン協会関西支部例会, 関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G. ハブスクエア大阪
- 2016年 「水鏡の観想」 岡本アメリカ・イギリス文学研究会例会, 甲南大学
- 2017年 (講演) 「パートルビーと鏡」 日本アメリカ文学会関西支部総会, 龍谷大学

## 翻 訳

- 1979年 フランシス・マシー 「北村透谷とラルフ・ウォルドー・エマソン」 『受容の軌跡——西欧思潮と近代日本——』 (南窓社)
- 1981年 ウィリアム・カリー 「カフカの技法」 決定版カフカ全集8 『ミレナへの手紙』 付録 (新潮社)
- 1991年 (共訳) チャールズ・ファイデルスン, Jr. 『象徴主義とアメリカ文学』 (旺史社)
- 2015年 ナサニエル・ホーソーン 『緋文字』 (デザインエッグ社)
- 2017年 ナサニエル・ホーソーン 『ブライズデイル・ロマンス』 (デザインエッグ社)
- 2017年 ナサニエル・ホーソーン 『七破風の屋敷』 (デザインエッグ社)

## エッセイ, 書評

- 1985年 エッセイ, “Hawthorne and the Bible”, 日本ナサニエル・ホーソーン協会 『ニューズレター』
- 1985年 エッセイ, 「時間と空間の闘ぎ合い」, サウンディングズ英語英米文学会 『ニューズレター』
- 1988年 書評, William B. Dillingham, *Melville's Later Novels*, 『英文学研究』, 64巻2号 (日本英文学会)
- 1991年 書評, Hiroko Washizu, *Volume of Blank Pages: A Study of Nathaniel Hawthorne*, 『英文学研究』, 67巻2号 (日本英文学会)
- 1992年 エッセイ, 「小説と偶然」, サウンディングズ英語英米文学会 『ニューズレター』
- 1995年 エッセイ, 「『シェーン』を読む」, サウンディングズ英語英米文学会 『ニューズレター』
- 1996年 書評, 岡田量一 『ホーソーンの短編小説——文学・愛・実存』, 『週刊読書人』

- 1999年 書評, 巽孝之他『文学する若きアメリカ』, 日本ナサニエル・ホーソーン協会『ニューズレター』
- 2001年 書評, 岩元巖他『セクシュアリティと罪の意識——読み直すホーソーンとアップダイク』, 『アメリカ文学研究37号』(日本アメリカ文学会)
- 2002年 書評, 丹羽隆昭『恐怖の自画像——ホーソーンと「許されざる罪」——』, 『アメリカ文学研究38号』(日本アメリカ文学会)
- 2004年 エッセイ, 「活字離れとアメリカ文学会」, 『週刊読書人』

#### 教科書 (共編注)

- 1983年 『アメリカの知的伝統』(金星堂)
- 1989年 『自然と逍遥』(旺史社)
- 1991年 『アメリカ失恋小説集』(英潮社)
- 1992年 『アメリカン・ロスト・ラブ・ストーリーズ』(英潮社)
- 1994年 『ケイト・ショパン——ショート・ショート——』(英宝社)
- 1997年 『エピソード・アメリカ小史』(英宝社)
- 1997年 『エム・バタフライ』(松柏社)
- 2011年 『映画シナリオ「シェーン」——聴読解力養成——』(英宝社)

#### 所属学会および社会活動

- ・日本アメリカ文学会 (会員1977年～, 事務局幹事1987年～1991年, 編集委員1995年～1997年, 大会運営委員1997年～2001年)
- ・日本アメリカ文学会関西支部 (会員1982年～, 地区委員1989年～1991年, 評議員1993年～2009年, 編集委員1999年～2001年)
- ・日本英文学会 (会員1977年～, 評議委員1998年～2003年)
- ・日本ナサニエル・ホーソーン協会 (会員1993年～, 理事1993年～2004年, 幹事1995年～1997年, 編集委員1995年～2002年, 編集委員長2002年～2004年)
- ・日本ソロー学会 (会員1993年～)
- ・アメリカ学会 (会員1987年～)
- ・サウンディングズ英語英米文学会 (会員1979年～)
- ・甲南英文学会 (会員1984年～, 会長2009年～2011年)
- ・OAK [岡本アメリカ研究会] (会員・主宰1993～)
- ・大学基準協会評価委員 (2006年～2011年)
- ・神戸鈴蘭台高校で高大接続総合学習担当 (2016年～2017年)